

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
集中治療部
医学生臨床実習Ⅱ（2週間型）研修プログラム

【概要】

当院は広島市北部医療圏（安佐南区・安佐北区、安芸高田市、北広島町、安芸太田町）の中核病院で、市内の救命救急センターまで30分の距離に位置している。その30分で失われる命を救うべく二次救急医療機関ではあるが地域の重症患者の診療を完結しようと、各診療科が協力して重症救急患者の診療に当たっている。

また総合診療科を中心に大学病院や救命救急センターでは見られない一次救急や二次救急患者も多数受け入れており、その中から急性心筋梗塞やくも膜下出血、急性大動脈解離などのkiller diseaseを拾い上げるべく診療を行っている。

これらの救急診療はすべて救急処置室で行われており、当院での実習ではそこにいる初期臨床研修医・後期臨床研修医・各診療科の医師の診療を見学することで、幅広い救急疾患の初期診療を経験することが可能である。

【到達目標】

1. 救急患者におけるバイタルサインを把握し、重症度・緊急度を判断する。
2. 以下の疾患・病態の診断を習得し、治療を見学する。
心肺停止、急性冠症候群、急性大動脈解離、脳血管障害、外傷、熱傷、急性中毒、敗血症、消化管出血、体温異常、特殊感染症、ショック、急性呼吸不全、急性心不全、急性肝不全、急性腎不全、その他の重篤な状態
3. 以下の手技の適応と合併症を述べる。
心肺蘇生法、気道確保、気管挿管、中心静脈確保、除細動、胸腔ドレナージ
4. 各種画像診断の適応と読影結果を理解する。
心電図、単純レントゲン写真、エコー、CT、MRI
5. 血液検査の適応と結果の解釈を理解する。
6. 雑多な救急疾患のなかから以下のkiller diseaseを拾い上げる過程を経験する。
くも膜下出血、脳梗塞、脳出血、狭心症、急性心筋梗塞、肺塞栓症、心室頻拍、心室細動、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、気管支喘息、肺炎、イレウス、消化管穿孔、急性膵炎、髄膜炎、急性薬物中毒、重症外傷
7. 救急隊員の活動を通して、プレホスピタルケアについて理解する。
8. 災害医療の基本を知る。

【研修方法】

1. オリエンテーション

研修開始日に指導医が当院の特性の紹介、研修プログラムの具体的内容を説明し、到達目標について理解する。

2. 救急処置室研修

初期臨床研修医とともに行動する。彼らの診療を見学し、問診・身体診察・検査の立案・診断・治療について理解する。

機会があれば心肺蘇生法を行う。

夜間の救急診療を見学する。

3. 集中治療室研修

循環作動薬、ME 機器などの適応・使用法を理解する。

看護師による患者の処置や検査のための患者の移動に参加する。

4. 毎朝の集中治療部の申し送りに参加し、その日の患者の病態把握・治療計画立案を理解する。

5. 毎日の研修終了時、指導医に症例のプレゼンテーションを行う。

【指導体制】

集中治療部主任部長：世良昭彦 院内 PHS 3064

集中治療部部長：田原直樹 院内 PHS 3062

救急処置室担当総合内科医師（毎日交替制）

救急処置室担当初期臨床研修医（毎月交替制）

【評価方法】

指導医が評価する。評価指標には知識・技能の評価以外に、積極性やコミュニケーション能力・実習態度なども参考にする。

1 週間ごとに 25 点満点で評価する（合計 50 点）

【注意事項】

午前 7 時 45 分、手術室内の麻酔科控え室に集合する。

白衣、筆記用具、ネームプレートを持参する。

当院への来院は公共交通機関を用いる。駐車場は利用できない。

夜間の救急診療を見学する機会がある。